

### 3 ロジックモデル

※達成すべき目標と取り組むべき施策の関連性を体系的に整理した「ロジックモデル」は次のとおりです。

評価指標	目標
<b>【県】</b>	
神奈川県災害医療対策会議の開催回数	毎年1回
神奈川県災害医療コーディネーター会議等災害医療対策会議の下部会議の開催回数	毎年10回以上
神奈川県が主催または参加する訓練の回数 (関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど)	毎年2回以上

<b>【地域】</b>	
地域災害医療対策会議の開催回数	毎年4回
地域災害医療コーディネーター研修の開催回数	毎年1回
地域災害医療コーディネーター研修に受講生を出した医療圏の数	毎年9カ所
神奈川県が主催または参加する訓練の回数 (関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど)【再掲】	毎年2回以上

<b>【医療機関】</b>	
県が主催するEMIS操作研修の参加者数	毎年180人
DMAT隊員のうち、DMAT隊員感染症研修を修了した割合	100%
県内のDMATインストラクターの人数	30人以上
かながわDPAT研修の受講者数	毎年35人
神奈川県が主催または参加する訓練の回数 (関東ブロックDMAT訓練、ビッグレスキューかながわなど)【再掲】	毎年2回以上
災害時医療救護活動研修会の参加者数	毎年200人
DMAT-L研修の参加者数	毎年80人
災害拠点病院の耐震化率	100%

<b>【保健医療関係団体】</b>	
災害時の県との連絡・情報連携窓口が設置されている団体数	11団体以上
県が実施する訓練に参加した団体数	毎年5団体以上

初期アウトカム	
<b>【県】</b>	
C101	計画の策定・改定を適時・適切に行っている
C102	県内外の関係者との意見交換等の場を設けるとともに、計画の実効性を担保している

<b>【地域】</b>	
C201	地域の関係者との意見交換等の場を設けるとともに、計画の実効性を担保している
C202	地域の関係者への教育が適切に行われている

<b>【医療機関】</b>	
C301	災害時医療を担う、実効性のある人材の確保・育成が適切に行われている
C302	災害時医療を担う施設が適切に維持・管理されている
C303	災害時医療に係る情報が適切に把握・管理されている

<b>【保健医療関係団体】</b>	
C401	災害時の県との連絡・情報連携窓口が設置されている

中間アウトカム

最終アウトカム

【県】

B101	県の災害時医療体制を整理した計画を備えている
B102	県内外の関係者との連携を適切に図っている

【地域】

B201	地域の関係者の連携が適切に図られている
B202	関係者相互が地域内の災害時医療体制を理解している

【医療機関】

B301	災害時医療体制を実現するために必要な取組が講じられている
------	------------------------------

A101 災害時医療が適切に提供できる

【保健医療関係団体】

B401	災害時の役割が明確であり、そのために必要な取組が講じられている
------	---------------------------------